

異常な行動が記録されている事例の概要(年齢順)  
 (販売開始(平成12年12月)から平成21年3月31日まで)

No.	事例No.	性別	年齢	一回用量	併用薬	副作用	対応	経過の概要	担当医師	備考
104	B-08004729	女性	12歳	20 mg	アセトアミノフェン 臭化水素酸デキストロメ ルファン 塩酸セフカペンピボキシル	異常行動	回復	インフルエンザA型と診断され、ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。本剤1日2回吸入。「先生、先生」と何度も大声で呼ぶ、「薬ちゃんとできてる?(本剤のことか?)」「朝でしょ」など同じことを何度も繰り返す。体温は37°C台となり解熱傾向あり。他にポーツとして返答が遅い症状も多く見られた。 服用2日目、本剤2回吸入。施設の寮母より異常行動がある、との報告があり、本剤を休薬するよう指示した。トイレの前で脱衣等の異常行動あり。 服用4日目、本剤吸入1回。臥床から起きようとし、他の部屋を徘徊、シャワーを浴びた後裸で出てくる、裸で脱衣所に座り込む、突然泣き出す、無い物をつかもうとする、といった異常行動あり。本剤終了。 服用開始から5日目、体温36°C台。来院時の待合室で他人の膝に座ろうとしたり、通路を歩く際、まっすぐ歩けなかった。多動、徘徊行動あるが、入眠を促すと直ぐに眠り込む。 服用開始から6日目、靴はなかなか履けない、階段も探りながら行く、授業中立ち歩くなど異常行動が続き、脳炎否定できず入院となる。		08/04/01以降 新規報告
105	B-08025999	男性	12歳	投与量不明		異常行動	不明	何回か夜中に急に立ち上がり、階段を降りたりした。		08/04/01以降 新規報告
106	B-08027365	男性	12歳	10 mg	鎮咳配合剤(1) セラペプターゼ アセトアミノフェン	異常行動	回復	迅速診断にてインフルエンザA型と診断され、ザナミビル水和物処方。本剤服用開始。午前中、本剤吸入時、体温は39.8°C。午後、眠りから覚めて直ちに2階からおりてきた。興奮した状態で母の口にマスクをおしつけたり、ロフトにぶらさがったり、切った野菜を手づかみで食べだしたりする等の行動が10分くらい続いた後、母親が制止し、就寝。医師に連絡の上、夕方より、本剤中止の指示。服用開始から2日目、再診。体温36.2°C。精神、神経症状なく、機嫌も悪くない。抗ウイルス薬処方せず対処療法となった。		08/04/01以降 新規報告
107	B-08028085	女性	12歳	10 mg	クラリスロマイシン リン酸ジメモルファン	幻覚 異常行動	回復 回復	38.9°Cの発熱あり。キットにてインフルエンザA型と診断され、ザナミビル水和物処方。夜、吸入約1時間半後、寝ていて突然起きて、ポーツとして幻覚を見た。暴れた。立ち上がってどこかへ行こうとするといった症状が発現。悪夢を見た感じであり、就寝中はうなされていた。症状の持続時間は5~10分。 服用開始から2日目、朝、発熱はおさまっており、症状も良くなった。		08/04/01以降 新規報告
108	B-08028342	男性	12歳	20 mg	アセトアミノフェン	異常行動	回復	ザナミビル水和物服用1日目、本剤吸入約1時間後、起き上がって、2階から階段をかけおり、突然玄関から外に飛び出しそうになった。母親がこれに気づき、体をおさえてとめて、我に返った。体温39.5度。本人は母親が外で呼んでいるように思ったとの事。 服用5日目、本剤終了。		08/04/01以降 新規報告



異常な行動が記録されている事例の概要(年齢順)  
 (販売開始(平成12年12月)から平成21年3月31日まで)

No.	個別番号	性別	年齢	一日用量	併用薬	副作用	経過	発症の経緯	前回来院No.	備考
115	B-08030544	男性	12歳	20 mg	ツロブテロール 臭化水素酸デキストロメ ルファン 塩化リゾチーム トナキサム酸 塩酸セフカペンピボキシル	異常行動	回復	ザナミビル水和物初回吸入後、寝ていたところ「こわい」と言って起き出し、二階から階段を降りようとする行動が発現。深夜、寝ていて「こわい」と叫んだ。その後も本剤継続。事象発現時はいずれも39℃の発熱あり。		08/04/01以降 新規報告
116	B-08030554	男性	12歳	投与量不明		異常行動	不明	インフルエンザに対して、ザナミビル水和物初回吸入後、就寝。就寝1時間後、起きたところ、外出しようとする行動が発現。		08/04/01以降 新規報告
117	B-08031337	男性	12歳	20 mg	塩酸ツロブテロール カルボシステイン ラクトミン ブランルカスト水和物 アセトアミノフェン	異常行動	回復	38℃の発熱、前日からの下痢にて、受診。インフルエンザB型と診断され、ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。服用2日目、夜間、就寝していたが、起きて2階の部屋の窓をあけようとしたため、1階につれていった。それ以降、自主的に本剤中止。本剤中止後、異常行動なし。		08/04/01以降 新規報告
118	B-08031468	男性	12歳	10 mg		異常行動	回復	ザナミビル水和物服用2日目、高熱あり。夜中に飛び起きて「枕がー」と叫びながら、2階へかけ上がった。本人の記憶はなし。		08/04/01以降 新規報告
119	B-06026552	男性	13歳	20 mg		異常行動 下痢	回復 回復	高熱あり、インフルエンザの診断。夜、ザナミビル水和物服用。深夜、1階の自室から2階の両親の部屋に行き、意味不明の言動あり、部屋の中をぐるぐる回る。本人は全く覚えていなかった。解熱し、本剤使用するも、その後は異常行動なかった。	異常-42	
120	B-07000021	男性	13歳	20 mg		異常行動	回復	インフルエンザと診断し、ザナミビル水和物処方。投与2日目、本剤服用から約3時間後、突然手足をバタバタさせたり、飛びはねたりの異常行動出現。全く制止不能であった。本人の当時の記憶はなし。	異常-43	
121	B-07001257	男性	13歳	20 mg		異常行動	回復	インフルエンザA型と診断され、状態悪く入院。ザナミビル水和物服用。投与3日目、泣き叫び、ベットサイドにあるテーブルに登り、暴れ、ベットから落ちるといふ異常行動を起こす。	異常-44	
122	B-07022586	男性	13歳	20 mg	鎮咳配合剤(1) アセトアミノフェン 乳酸リンゲル液(ソルビト ール加) チアミンジスルフィド・B6・ B12配合剤アスコルビン酸	意識変容状態 異常行動	回復 回復	キットにてA+、ザナミビル水和物吸入。自宅にて2回目吸入。以後本剤吸入せず。同日晩、突然起きて玄関から出て行く。近くの駐在所で保護された。保護されるまでの間の記憶なく、その後は憶えているとのこと。その後、異常行動は認められていない。	異常-45	

異常な行動が記録されている事例の概要(年齢順)  
 (販売開始(平成12年12月)から平成21年3月31日まで)

No.	個別番号	性別	年齢	用量	添付文書 記載成分	副作用	経過	経過の概要	副作用No.	備考
123	B-07023492	男性	13歳	20 mg	鎮咳配合剤(1) 塩酸アンブロキシール アセトアミノフェン ラクトミン	異常行動	回復	ザナミビル水和物服用1日前、夜、体温38.6℃。夜中はうなされて いた。 翌朝、体温38.5℃にて、受診。インフルエンザ迅速検査A陽性、B陰 性にて、ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。夜、本剤1回目 吸入。体温39℃。本剤吸入2時間後、手をバタバタしてうなる。 服用2日目、朝、本剤2回目吸入。体温37℃台。異常なし。夜、本剤 3回目吸入。体温37℃台。就寝したが、吸入3時間半後、むくっと起 きて「お母さんが迎えに来た。」と言って階下に降りる。その後呼び 戻すとそのまま寝付く。腹痛、頭痛、フラツキ、下痢あり。 服用6日目、インフルエンザ改善により本剤終了。	異常-46	08/04/01以降 追加報告
124	B-07025865	男性	13歳	20 mg	dl-マレイン酸クロルフェニ ラミン カルボシステイン 塩酸ツロブテロール ヒベンズ酸チベジジン スクラルファート カフェイン アセトアミノフェン	異常行動	回復	ザナミビル水和物服用1日前、39℃の発熱後、不穏状態あり、母親 をかんだりした。 翌日、インフルエンザ抗原検査でA陽性であり、ザナミビル水和物 処方。受診時、やや落ち着きない様子あり。同日、服用開始。夜、 不穏状態となり、急に外へ出ようとしたりした。本剤は昼、夕1回ず つ吸入したが、副作用のため、中止。 服用開始から2日目、体温37～38℃。不穏状態は回復。異常行動 のことは覚えていない。	異常-47	08/04/01以降 追加報告
125	B-07025982	男性	13歳	20 mg	カルボシステイン ヒベンズ酸チベジジン アセトアミノフェン	異常行動	回復	服薬1日目、ザナミビル水和物投与。 服薬2日目、夕方、話そうとしても言葉が出なかった。テレビと母親 を指指して、あつあつと言っていた。車に乗って受診しようとする が、その際、親は患児に傘を持って来てと言ったが、患児は靴べら を持って来た。 服薬3日目、覚醒直後。急に起きて1階にあるトイレに行ったあと、2 階まで階段を駆け上がり、2階の廊下を走り回った。母親を指差し て、さとう、と言って部屋の中でびよんびよん、サルの様に跳ねた。 その後、布団に横になり元に戻った。この間10-15分くらいであつ た。	異常-48	
126	B-07026511	男性	13歳	20 mg	葛根湯 アセトアミノフェン	異常行動 譫妄	軽快 軽快	ザナミビル水和物服用1日目、朝、体温38.7℃、頭痛、咳嗽、咽頭 痛あり。本剤1回目吸入、アセトアミノフェン服用し、就寝。吸入1時 間後、ベッドから起き上がり、歩きながら「体温が300℃あるからこ ちに来て」と訳のわからないことを母親に言いに来る。ベッドに戻り 横になるが「怖い怖い」「壁を僕に投げないで」など、再度、妄想め いたことを口にする(約3分間)。意識が戻った後、会話が普通にな る。歩いて母親を呼びに来たことは全く覚えておらず、「怖い夢を見 ていた」と話す。吸入5時間後、体温38.6℃。自分でも訳のわから ない行動を取ろうとして、「怖い」と話す。吸入7時間後、解熱せず、 ベッドに横になると「親が遠くに見える」と訴え、異常があるため受 診。意識清明であったが、院内で数時間観察。 服用開始から2日後、体温37.2℃。元気で異常なし。		08/04/01以降 追加報告

異常な行動が記録されている事例の概要(年齢順)  
 (販売開始(平成12年12月)から平成21年3月31日まで)

No.	個別番号	性別	年齢	一回用量	併用薬	副作用	経過	経過の概要	前回の経過	備考
127	B-08027532	男性	13歳	20 mg	リン酸ジメモルファン 塩酸プロカテロール カルボシステイン クラリスロマイシン アセトアミノフェン	異常行動	回復	微熱、咳嗽、鼻汁、嘔気、頭痛のため来院し、インフルエンザの検査にてインフルエンザと診断され、ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。昼、夕、本剤吸入。深夜、睡眠時、何か声が聞こえて夢遊病のようにさまよい、2階の窓から外に飛び出した。外傷はほとんどなかったが、自宅の車の中で3時間位過ごした。翌朝、両親を起こし、自宅内にもどる。再診時、意識状態良好、麻痺はなし。打撲痕はないが、背部痛を軽度訴える。その時の記憶は不鮮明とのこと。本剤中止。		08/04/01以降 新規報告
128	B-08027533	男性	13歳	20 mg	クラリスロマイシン リン酸ジメモルファン 塩酸ツロブテロール アセトアミノフェン UNKNOWNDRUG	異常行動 悪夢	回復 回復	インフルエンザでA型と診断され、ザナミビル水和物処方。同日、服用開始し、昼、夜、本剤吸入。翌朝、起きた直後に、2階窓から転落。「こわい夢を見た」とのこと。落下時に電話線につかまった様だとのこと。隣家との間に落ち、空調の室外機にぶつかり、それから地上に落ちた。一緒に寝ていた弟に「逃げろ」と言ったとのこと。自分は窓から逃げた。本人の記憶あり。本剤中止。		08/04/01以降 新規報告
129	B-08027674	男性	13歳	20 mg	アセトアミノフェン アセトアミノフェン	熱性譫妄 異常行動	回復 回復	インフルエンザB型の診断にて、ザナミビル水和物処方。夕方、本剤吸入。深夜、父親が止めてもかなり暴れて窓に足をかけたり玄関からおびえ泣きながら出ていこうとする行動が発現。行動は約30分持続した。発熱あり、本剤服用開始。朝、本剤吸入8時間後、体温39℃台あり、泣いてどこかに行こうとする行動が発言。父親が腕を引いて止めた。うわごともあり(持続時間は約15分)。夜、本剤吸入約1時間後、就寝。深夜、体温39℃台あり、急に起きてとりに寝ている姉に何やら話しかけた後、立ち上がり出かけようとした。父親が少し押さえて止めた。		08/04/01以降 新規報告
130	B-08027675	女性	13歳	20 mg	アセトアミノフェン	異常行動	回復	インフルエンザB型と診断され、ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。昼、夕、本剤吸入し、就寝。服用2日目、朝、本人に意識はあるが「勝手に脚が動いてしまう」とのこと。2階～1階～2階と室内、階段を走り回る。本人、恐怖のため家人に電話した。37.4℃。以後は異常なし。		08/04/01以降 新規報告
131	B-08028349	女性	13歳	20 mg		異常行動 譫妄 徘徊癖	回復 回復 回復	咽頭痛、咳嗽あり、翌日、受診し、ザナミビル水和物処方。同日、夜、本剤初回吸入後、就寝。体温38度。本剤初回吸入3時間後、寝室で寝ていたが突然起きだして部屋から出てリビングに勝手に座っていた、「手術で切られる」「手術で切られる」「虫がおそってくる」とうわ言など叫びながらリビングで暴れ出した(意識朦朧としていた)といった症状が発現。その後、就寝。事象発現翌朝、通常の意識状態にもどる。		08/04/01以降 新規報告

異常な行動が記録されている事例の概要(年齢順)  
 (販売開始(平成12年12月)から平成21年3月31日まで)

No.	別記号	性別	年齢	一日用量	併用薬	副作用	経過	経過の概要	担当No	備考
132	B-08028505	女性	13歳	投与量不明	臭化水素酸デキストロメ ルファン 塩酸アンプロキソール	異常行動	不明	発熱あり、同日夜、ザナミビル水和物等服用開始。 服用2日目、真夜中に2階から階段を走るように降りてきて「カバン カバン」と叫ぶといった症状が発現。洗顔をさせると我ががかったと のこと。それまでの事は本人の記憶はなし。翌朝、解熱。軽度咳そ う、鼻閉のみ。ほぼ通常の状態。		08/04/01以降 新規報告
133	B-08028506	女性	13歳	20 mg		異常行動	回復	体温37.8℃、咽頭痛、咳、痰あり。キットにてインフルエンザA型の 診断にてザナミビル水和物処方。夜、本剤吸入後約2時間後に就寝。 服用2日目、朝、体温37.5℃。本剤吸入後、再度睡眠。本剤吸入1 時間半後、ベッドから突然起きて窓の方へ歩き、窓を開けてベラン ダに出た。母親が気づき、問いかけると、「兄がそこに」と言って眼 を見開いていた。患者をソファーに座らせた後、ベッドに寝かせるま で約15分経過し、通常の状態に戻った。 服用開始から3日目、インフルエンザ回復にて、本剤終了。		08/04/01以降 新規報告
134	B-08028720	男性	13歳	20 mg		異常行動	回復	39.4℃の発熱あり。キットにてインフルエンザA型と診断され、ザナ ミビル水和物処方。同日、服用開始。 服用2日目、早朝、5分ほど家の中をブツブツ言いながら歩き回っ ていた。親は止めようと声を掛けたが、反応がなかった。		08/04/01以降 新規報告
135	B-08028725	男性	13歳	20 mg	非ピリン系感冒剤(4) 臭化水素酸デキストロメ ルファン カルボシステイン セフジニル アセトアミノフェン アズレンスルホン酸ナトリ ウム	異常行動	回復	体温39.1℃。キットにてインフルエンザと確認し、ザナミビル水和物 処方。同日、朝、本剤初回吸入するも、著変なし。夜、体温は 38.9℃。本剤吸入直後、トイレに行くと言って庭に出ようとした。父 親がそこはトイレではないと指摘すると、トイレに行き排尿した。トイ レから出た後、浴室へ行き、くつ下を片方脱いで居間に戻ってき た。そしてそのまま黙って2階へ上がり、パンツ姿になって降りてき た。父親が大声で名前を呼ぶと、僕何をしていた?と言い我に返った ようであった。その間の記憶はなく興奮した様子もなかった。事象 発現20分後、体温は37.2℃。		08/04/01以降 新規報告
136	B-08029201	男性	13歳	20 mg		異常行動	回復	前日夜より、体温38℃と発熱、咳あり、受診。キットにてインフルエ ンザA型と診断され、ザナミビル水和物処方。本剤服用開始。 服用2日目、夜、検温をしようと名前を呼んだところ、階段へ行き、 下を指差しながら降りていった。心配になり再度名前を呼んだとこ ろ、今度はストーブの前へ行き、数秒間足踏みをした。この行動を 後で本人に確認したところ全く覚えていないとのこと。 服用3日目、下熱し、気になる行動は認めず。本人に確認したとこ ろ、行動については覚えていないとのこと。本剤中止。		08/04/01以降 新規報告
137	B-06026557	男性	14歳	20 mg	アジスロマイシン水和物 ジプロフィリン・ジヒドロコデ イン配合剤	異常行動	回復	夜吸入後、異常行動発現(暴れた)。両親で押さえつけて止めた。	異常-50	

異常な行動が記録されている事例の概要(年齢順)  
 (販売開始(平成12年12月)から平成21年3月31日まで)

No.	個別番号	性別	年齢	一日用量	併用薬	副作用	経過	経過の概要	前回報告No.	備考
138	B-07024517	男性	14歳	20 mg	アセトアミノフェン	異常行動	回復	服薬1日目、ザナミビル水和物吸入。屋過ぎ、大声で叫び、携帯ではなく家の玄関まで行って、家の電話で母親に電話し、「アイスクリームが溶けて爆発した」と話す。しばらくして、我に返る。 夜中、ぐるぐる回り、自分で鍵を開けてマンションのベランダに出て、ここから下に降りなければならないと叫ぶ。落ちそうになり兄が止めた。兄が顔に張り手をするが気が付かず、無理やり部屋に引き入れた。本人は記憶なし。 服薬2日目、午後、解熱傾向。以降はザナミビル水和物中止。異常行動は回復。	異常-51	
139	B-07025027	男性	14歳	20 mg	クラリスロマイシン カルボシステイン 塩酸アンブロキシール	異常行動	回復	服薬1日目、A型インフルエンザと診断、ザナミビル水和物吸入。服薬2日目朝、本剤3回目吸入。熱は解熱傾向。屋過ぎ入眠。夕方、ポツとしていたが、急に起きて兄の首を絞めようとした。兄が怒って振り払うと、ひとしきり泣きいってしまった。その後、普通にもどって食事をしたが、兄の首を絞めたことは覚えていない。 翌日、受診。少しポツとしている。意識してすることはわかるが、何とはなしに無意識にした日常的なことは覚えていないと言う。本剤中止。	異常-52	
140	B-08027366	女性	14歳	10 mg		異常感 異常行動	回復 回復	インフルエンザAと診断され、ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。昼頃、本剤1回目吸入約2時間後、体が硬くなるような軟らかくなるような感じがすると訴え、同時に室内をグルグル歩き出した。2時間程で症状は軽快。体温38.2℃。本剤服用は1回のみで中止。		08/04/01以降 新規報告
141	B-08028724	男性	14歳	10 mg		異常行動	回復	インフルエンザB型の診断にて、ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。 服用2日目、朝、体温38℃。昼頃、本剤吸入約2時間半後、周りのものを壊したくなり、父親に向かって行って、抑制され正気になった。		08/04/01以降 新規報告
142	B-08029311	男性	14歳	20 mg	鎮咳配合剤(1) 塩酸アンブロキシール アセトアミノフェン	錯乱状態	回復	ザナミビル水和物服用1日目、体温38.3℃あり、昼、夜、本剤吸入し、就寝。深夜、睡眠状態で、錯乱(飛び回る、弟を踏みつける)が認められた。約10分継続し、親が寝かしつける。		08/04/01以降 新規報告
143	B-08029576	男性	14歳	10 mg	アセトアミノフェン 塩酸セフカベンピボキシル 塩酸アンブロキシール	異常行動	回復	体温38.5℃。来院し、インフルエンザB型の診断にて、ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。朝、本剤吸入約3時間半後、「1階から2階を何度も走っているのだから、おかしいので帰って来てくれ」と本人が母親に電話した。母親帰宅後、2~3時間睡眠。睡眠時、足の振戦あり。起床し、「おはよう」と言ってトイレに行こうとして玄関に向かって倒れた。その後、テストのことや2階から飛べる等、おかしい言動をするので病院に搬送。夜まで経過観察後、帰宅。1回のみで本剤中止。		08/04/01以降 新規報告

異常な行動が記録されている事例の概要(年齢順)  
 (販売開始(平成12年12月)から平成21年3月31日まで)

No	個別番号	性別	年齢	用量	添付文書	副作用	経過	経過の概要	再発/経過	備考
144	B-08030246	男性	14歳	20 mg		高揚状態 意識変容状態	軽快 軽快	39℃の発熱、関節痛あり、受診。キットにてインフルエンザA型と診断され、ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。 服用2日目、夜、吸入後、ハイテンションとなり、意味不明のことを一生懸命説明しようとする行動が発現。本人の記憶はなし。深夜、無意識のうちに冷蔵庫に行き帰る途中、転倒し歯を折った。本人はあまり記憶がない様子。 服用6日目、インフルエンザ治療により本剤終了。		08/04/01以降 新規報告
145	B-08032019	男性	14歳	20 mg		異常行動	不明	ザナミビル水和物初回吸入約2時間後、保護者が部屋からの物音に気づいた。部屋を見てみると、患者が徘徊していた。医師の指示により、本剤中止。		08/04/01以降 新規報告
146	B-08000326	男性	15歳	20 mg	アセトアミノフェン 臭化水素酸デキストロメ ルファン 塩酸プロムヘキシン d-マレイン酸クロルフェニ ラミン	異常行動	回復	服用1日目、咳、鼻閉、咽頭痛、手足の痛みあり、食欲なし。体温38.4℃。言動はふつ。ザナミビル水和物1回目吸入。 服用2日目、体温39.6℃。深夜、就寝中に大声でわめきながら、すごい勢いで部屋のドアを開け、となりの台所にとび出して来た。ウロウロしながら大声で、ワーク、ワーク、ワーク引っぱらないでと何℃も言う。母親の声かけにより落ちつき、寝る、大丈夫と言い、自分で布団に入って寝た。朝まで就寝。本人は全く覚えてない。 以降、異常行動は起きていない。		08/04/01以降 新規報告
147	B-08026496	女性	15歳	15 mg	麻黄湯 桜皮エキス・リン酸コデイン カルボシステイン	異常行動	軽快	38.3度の発熱があり、受診。インフルエンザA型抗原陽性にて、ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。その後改善なく夜に本剤吸入。症状改善なく再度就寝前に本剤吸入。その後「こわい」「こわい」と動き出し、異常行動が発現。家族の説得等に反応し、症状は消失。(なお、こわいこわいと動き回った際は、行動に抑制がかからず、また、本人はその際のことは詳細には記憶していないとのこと)。 服用2日目、わずかに解熱するも、咳症状は認められていた。本剤は、患者家族判断にて服用中止。		08/04/01以降 新規報告
148	B-08026607	男性	15歳	20 mg	アセトアミノフェン アセトアミノフェン	異常行動	回復	インフルエンザB型の診断と診断され、ザナミビル水和物処方。夕、体温39℃。本剤2回目吸入。その後、熱があるため、アセトアミノフェン坐剤を使用し、就寝。深夜、体温38.5℃。3階にて睡眠中、突然大声をあげて2階の両親の部屋へかけおりにくる。大声で意味不明、支離滅裂な話を始める。救急車にて搬送。インフルエンザ脳症疑いにて他院に転送されるも、問題ないため帰宅。 服用2日目、再受診。バイタル含め異常なし。本人には異常行動中の記憶なし。インフルエンザ改善により本剤終了。		08/04/01以降 新規報告
149	B-08027684	男性	15歳	20 mg	アセトアミノフェン レバミピド	意識消失 異常行動	回復 回復	38度の発熱にて受診。インフルエンザA型と診断され、ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。夕、本剤1回目吸入約3時間半後、本剤2回目吸入。その後、就寝。2回目吸入4時間後、深夜、玄関外のエレベータ前で寝ている所を発見。救急外来を受診。再度インフルエンザの検査を行い、A型陽性であった。治療せず帰宅。		08/04/01以降 新規報告